

船舶事故調査報告書

平成28年11月24日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄司邦昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根本美奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成27年10月4日 20時15分ごろ
発生場所	大阪府 ^{ほんなん} 阪南港第2区 大阪府阪南港阪南2区北防波堤灯台から真方位135°640m付近 （概位 北緯34°29.1′ 東経135°21.6′）
事故の概要	瀬渡船 ^{やまだ} 第2山田丸は、南東進中、護岸に乗り揚げた。 第2山田丸は、船底キール部に破口等を生じた。
事故調査の経過	平成27年10月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	瀬渡船 第2山田丸、12トン 250-11405大阪、岸和田渡船株式会社 11.98m (Lr) × 4.36m × 1.13m、FRP ディーゼル機関、423.00kW、昭和60年6月
乗組員等に関する情報	船長 男性 42歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成14年3月25日 免許証交付日 平成24年1月30日 （平成29年3月24日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	船底キール部に破口を伴う擦過傷等
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北東、風力 3、視界 良好 海象：波高 約1.0～1.5m、潮汐 高潮時
事故の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、防波堤の釣り客を迎える目的で、係留地である阪南港第1区の棧橋から出航し、同港第2区の南防波堤で3人の釣り客を、北防波堤で45人の釣り客をそれぞれ乗船させて帰途についた。 本船は、平成27年10月4日20時13分ごろ、大阪府阪南港阪南2区北防波堤灯台の北東方において、岸和田第2号岸壁に山積みされた材木を目標とし、手動操舵により南東進を開始した。

	<p>本船は、約12ノットの対地速力で阪南港第2区の埋め立て中の護岸（以下「本件護岸」という。）にほぼ沿う態勢で航行中、風力3の北北東風を受け、左舷船首方からの波しぶきが増し、船長が、左舷船首部に座っていた釣り客（以下「本件釣り客」という。）に波しぶきがかかり続けていたので、気になり様子を見守っていたところ、20時15分ごろ本件護岸に乗り揚げた。</p> <p>船長は、本事故の発生を海上保安庁に通報し、釣り客は、僚船が収容して係留地に戻った。</p> <p>本船は、翌日の満潮時を待ち、僚船の援助により離礁した。 （付図1 事故発生経過概略図、写真1 本船、写真2 波しぶきがかかっていた釣り客の位置 参照）</p>
<p>その他の事項</p>	<p>本件護岸の頂部には、約400～500mの間隔で4個の黄色の簡易標識灯が設置されていた。</p> <p>本船の喫水は、船首約0.6m、船尾約1.2mであった。</p> <p>船長は、本事故発生場所付近の航行経験が300回以上あり、過去に航行の危険を感じたことはなかった。</p> <p>船長は、周囲の防波堤を目視により、夜間には本件護岸の影を見て船位を確認していたが、本事故時は、本件釣り客の様子を見守っていたので、本件護岸に向かう態勢となったことに気付かなかった。</p> <p>船長は、本件釣り客に波しぶきがかからないようにしようとして無意識のうちに舵を右に取っていたのではないかと本事故後に思った。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし あり</p> <p>本船は、阪南港第2区において、本件護岸にほぼ沿う態勢で南東進中、船長が、波しぶきがかかっている本件釣り客の様子に気を取られ、前方の見張りを適切に行っていなかったことから、本件護岸に向かう態勢となったことに気付かずに航行し、本件護岸に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、本事故当時、風力3の北北東の風を受けて左舷船首から波しぶきがかかっていたこと、及び右転することにより波しぶきを抑えることができたと考えられることから、本件釣り客に波しぶきがかからないようにしようとして無意識のうちに舵を右に取っていた可能性があると考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、夜間、阪南港第2区において、本船が本件護岸にほぼ沿う態勢で南東進中、船長が、波しぶきがかかっている本件釣り客の様子に気を取られ、前方の見張りを適切に行っていなかったため、本件護岸に向かう態勢となったことに気付かずに航行し、本件護岸に乗り揚げたものと考えられる。</p>

参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 常時適切な見張りを行うこと。
-----------	--

付図1 事故発生経過概略図

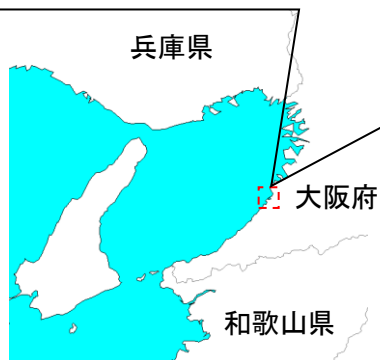
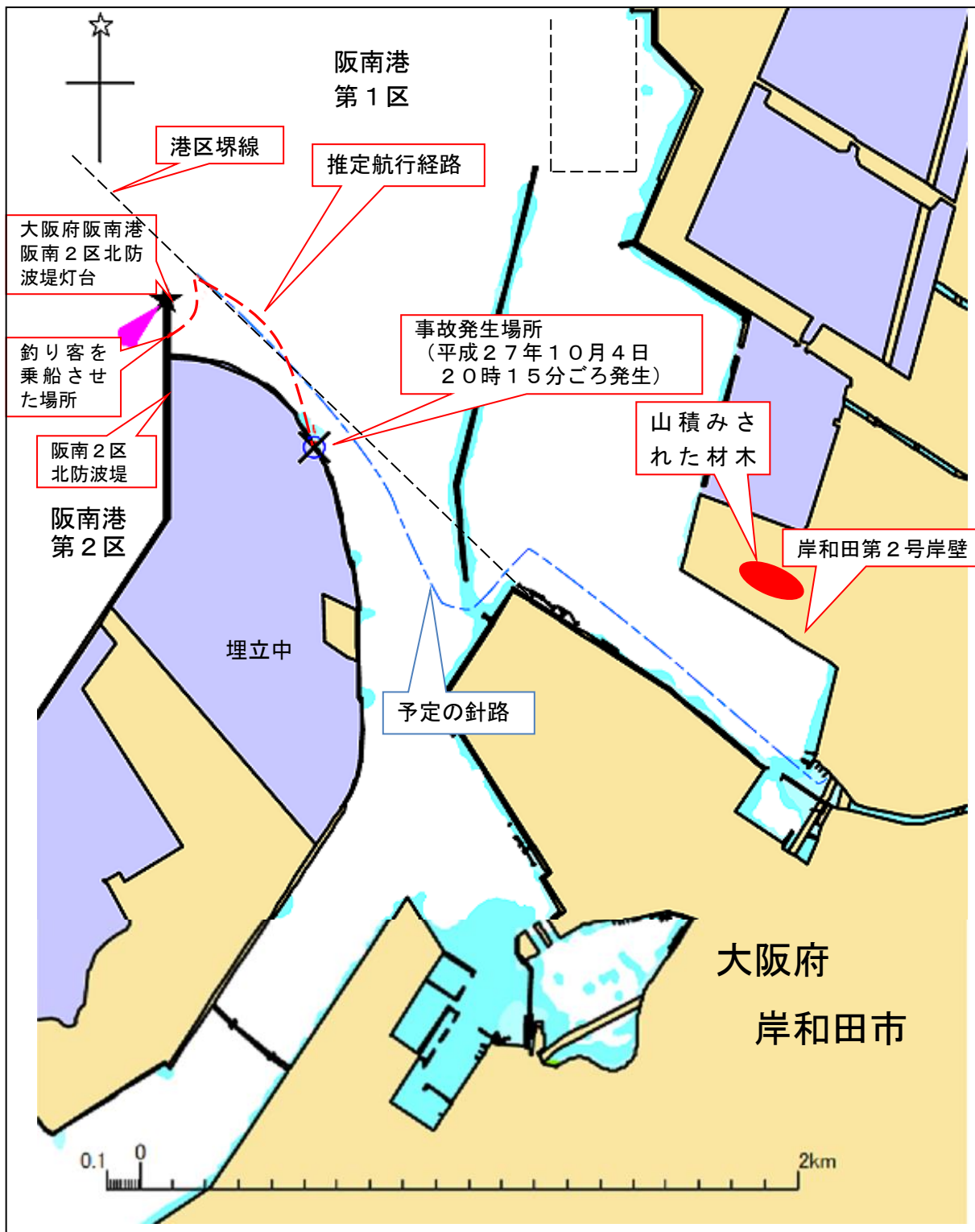


写真1 本船



写真2 波しぶきがかかっていた釣り客の位置

